

管理職への任用状況等について(令和4年度)

1. 管理職への任用に関する状況(令和4年10月1日時点)

(1) 管理職員数及び割合

試験区分		I 種試験等		II 種試験等		III 種試験等		その他		合計	
			うち女性		うち女性		うち女性		うち女性		うち女性
室長級	人数(人)	73	13	12	1	19	0	19	2	123	16
	割合	59.3%	17.8%	9.8%	8.3%	15.4%	0.0%	15.4%	10.5%	100%	13.0%
課長級	人数(人)	80	7	2	1	5	0	10	1	97	9
	割合	82.5%	8.8%	2.1%	50.0%	5.2%	0.0%	10.3%	10.0%	100%	9.3%

(注)1 「管理職(管理職員)」とは、本府省内部部局、外局の内部部局、内閣府地方創生推進事務局、内閣府知的財産戦略推進事務局、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、内閣府北方対策本部、内閣府子ども・子育て本部、内閣府総合海洋政策推進事務局、内閣府国際平和協力本部に属する官職であって、職制上の段階が「室長級」又は「課長級」の官職を占める職員をいう。専門スタッフ職俸給表の適用を受ける職員については対象外。

2 「I 種試験等」とは、国家公務員採用 I 種試験、その他 I 種試験に準ずる試験をいう。

3 「II 種試験等」とは、国家公務員採用 II 種試験、法務教官採用試験、外務専門職採用試験、国税専門官採用試験、労働基準監督官採用試験、その他 II 種試験に準ずる試験をいう。

4 「III 種試験等」とは、国家公務員採用 III 種試験、皇宮護衛官採用試験、刑務官採用試験、入国警備官採用試験、その他 III 種試験に準ずる試験をいう。

5 「その他」とは、選考採用などをいう。

6 女性の割合は、採用試験別の人数に対する割合を表す。

(2) 管理職員の府省間人事交流の実施状況

	採用府省以外の府省 での勤務者数 (他府省への出向数)			採用府省以外の府省 からの勤務者数 (他府省からの出向数)		
	室長級	課長級	合計	室長級	課長級	合計
合計(人)	29	32	61	8	7	15

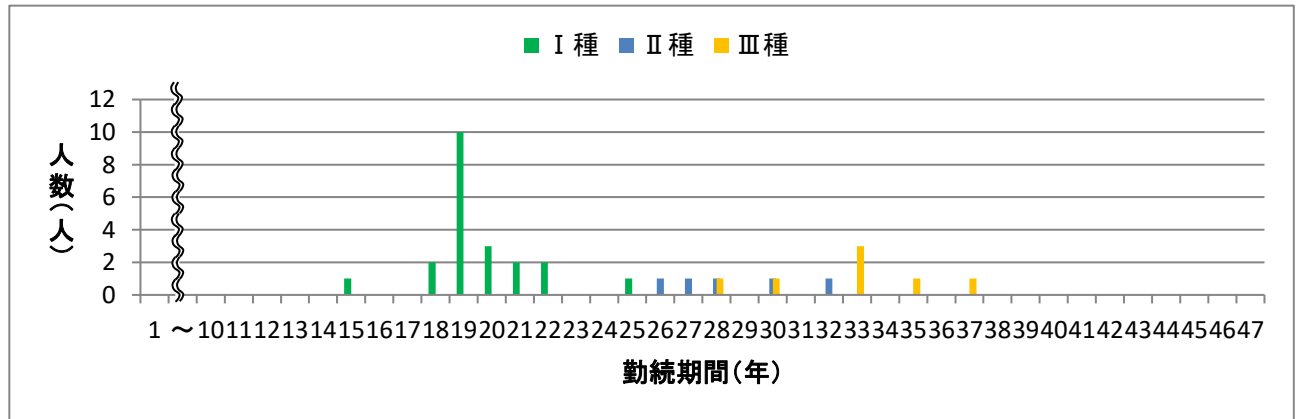
2. 本府省管理職に初めて任用された者についての状況(令和3年10月2日～令和4年10月1日)

(1) 本府省管理職に初めて任用された職員の採用試験の種類及び勤続年数

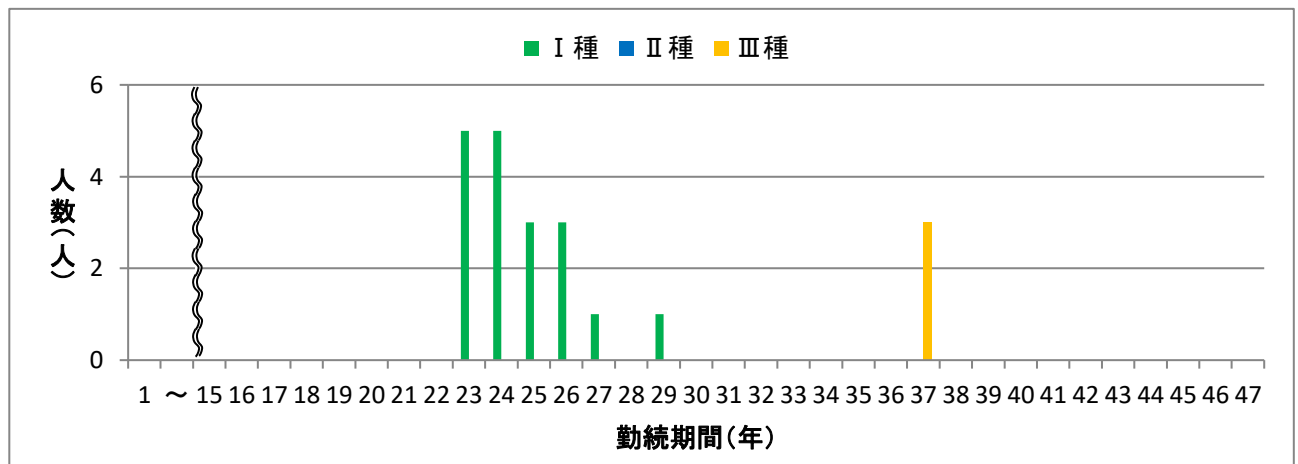
イ 本府省室長級又は課長級の官職に任用されたことのない職員のうち、初めて本府省室長級又は課長級の官職に任用された職員数及び割合

試験区分		I 種試験等		II 種試験等		III 種試験等		その他		合計	
		人数	うち女性	人数	うち女性	人数	うち女性	人数	うち女性	人数	うち女性
室長級	人数(人)	21	5	5	1	7	0	13	2	46	8
	割合	45.7%	23.8%	10.9%	20.0%	15.2%	0.0%	28.3%	15.4%	100%	17.4%
課長級	人数(人)	18	0	0	0	3	0	2	0	23	0
	割合	78.3%	0.0%	0.0%	—	13.0%	0.0%	8.7%	0.0%	100%	0.0%

ロ 本府省室長級の官職に初めて任用された職員についての採用から当該任用までに要した勤続年数



ハ 本府省課長級の官職に初めて任用された職員についての採用から当該任用までに要した勤続年数



(2) 本府省室長級又は課長級の官職に初めて任用された職員の出向経験

(単位:人)

出向回数	0回	1回	2回以上
室長級	9	9	28
課長級	2	1	20

(注)「出向」には、他府省、在外公館、地方公共団体、民間企業等が含まれる。

3. 採用年次、採用試験の種類等にとられない人事運用を行った取組例(令和3年10月2日～令和4年10月1日)

(1) 幹部職及び管理職の取組状況

事例		幹部職(相当職含む)	管理職(相当職含む)
極めて優れた能力を有すると認められる職員を速やかに昇任させた事例(二段階以上上位の職制上の段階に属する官職に昇任)	具体的事例	大臣官房長 ← 大臣官房人事課長	
		スポーツ庁次長(局長級) ← (独)大学入試センター理事 ← 科学技術・学術政策局政策課長	
		文化庁文化財鑑査官(部長級) ← 文化庁文化財第一課主任文化財調査官(室長級)	
極めて優れた能力を有すると認められる職員を速やかに昇任させた事例(採用年次にとられない早期登用)	具体的事例	文化庁次長(局長級)への登用	
採用試験の職種や種類にとられない登用	具体的事例	大臣官房審議官(初等中等教育局担当)にⅢ種試験から採用した職員を登用	初等中等教育局児童生徒課長にⅢ種試験から採用した職員を登用
民間人材等の採用・登用	具体的事例		初等中等教育局主任視学官に任期付職員を採用
			研究振興局大学研究基盤整備課資金運用企画室長に交流採用(官民人事交流制度)

4. 採用(選考を含む)の状況(令和3年10月2日～令和4年10月1日)

(1) 採用職員数

(単位:人)

総数	うち女性
441	110

(2) 選考によって新たに採用した者のうち、公募手続を経て採用した者の状況

(単位:人)

選考によって新たに採用した者				
	うち女性		うち公募手続を経て採用した者	
	(割合)		(割合)	
	うち女性	(割合)	うち女性	(割合)
18	9	50.0%	16	88.9%
			8	50.0%

(注)「選考によって新たに採用をした者」とは、一般職の常勤職員に係る選考採用のうち、特別職・地方公共団体・行政執行法人等からの選考採用、かつて職員であった者の選考採用又は人事交流の一環として行われる選考採用を除いたものをいう。

(3) 選考採用者のうち公募手続を経ずに採用した者について、公募手続を行わなかった具体的理由

高度に専門的な学識や、関係法令に関する知識などの特殊な知識が必要であり、公募により難かったため。

(4) 職位ごとの選考によって新たに採用した者の人数

(単位:人)

幹部職(相当職含む)		管理職(相当職含む)		課長補佐(相当職含む)		係長(相当職含む)以下	
うち女性		うち女性		うち女性		うち女性	
0	0	1	0	10	5	7	4

(5) 選考採用により管理職以上を採用した事例

初等中等教育局主任視学官